

構成事例



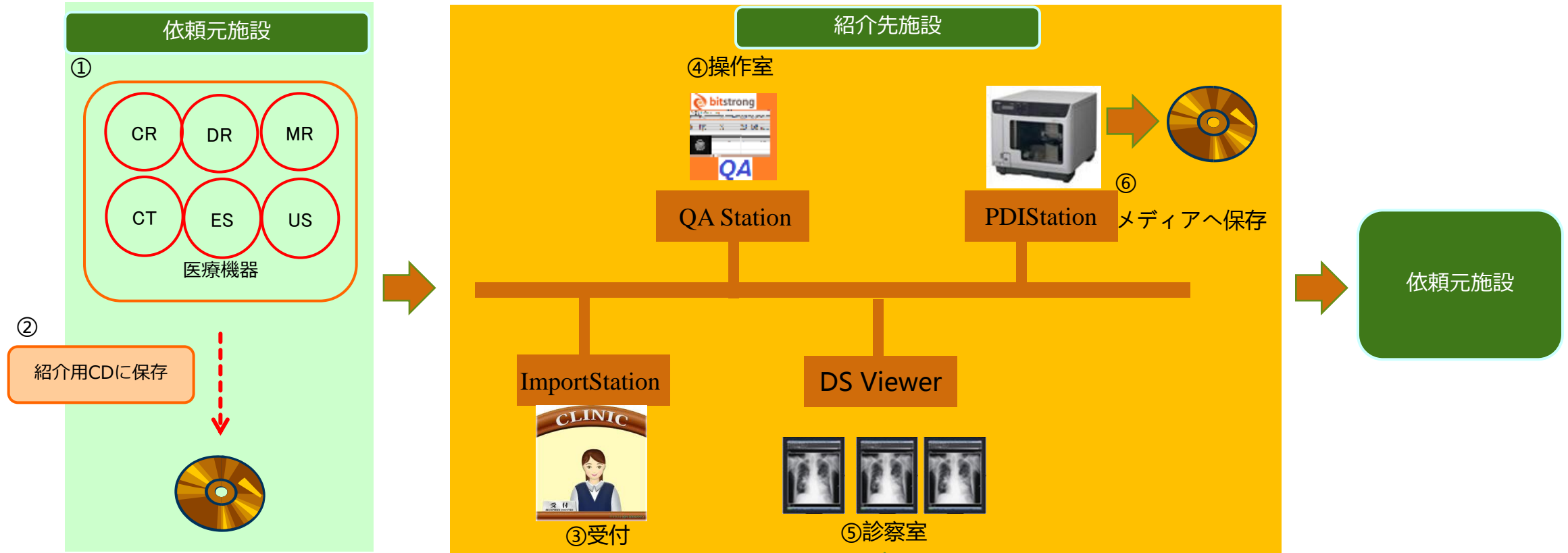
株式会社ビットストロング

地域連携構成例(メディア渡し)



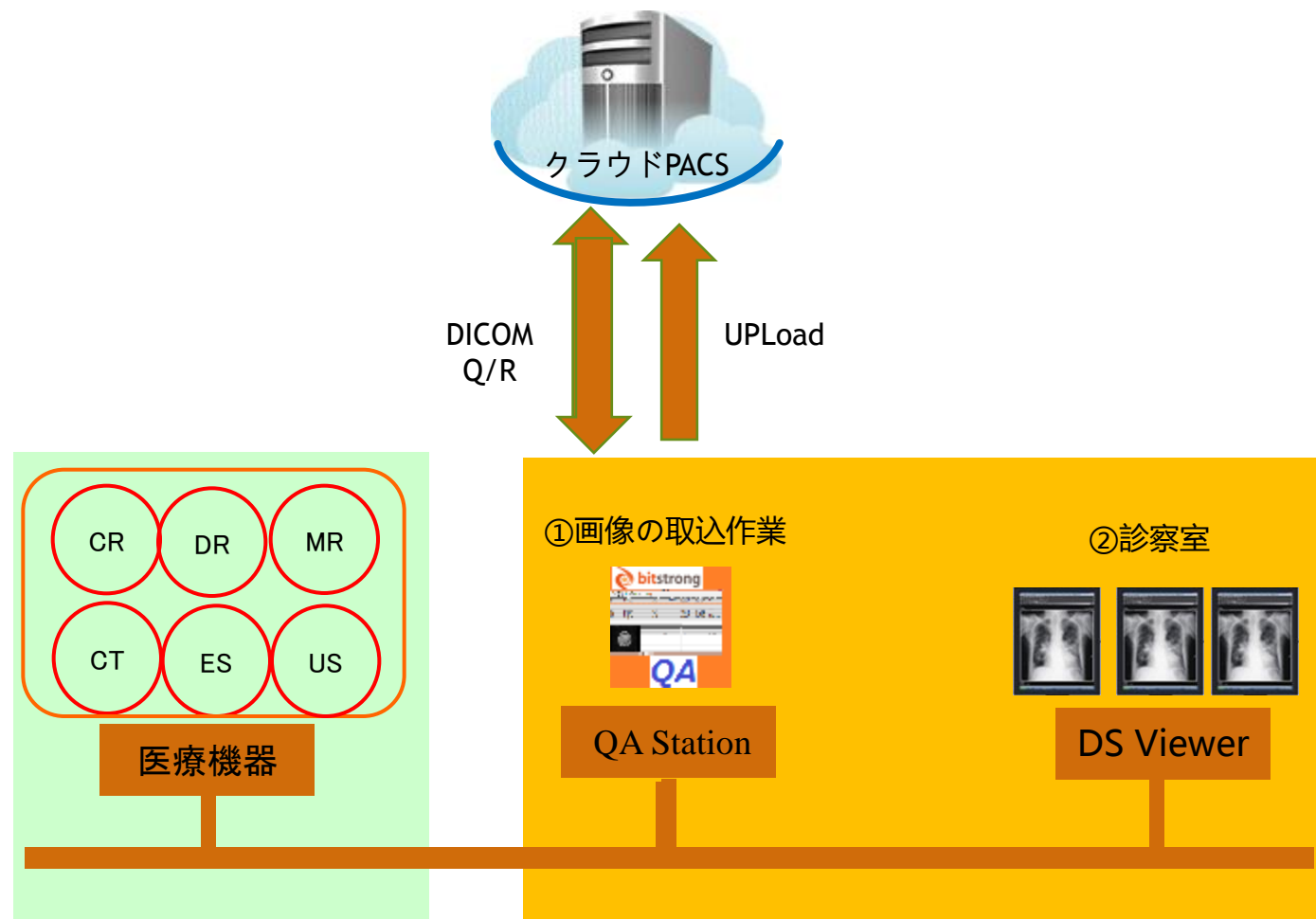


- ① 依頼元施設で医療画像(レントゲン等)を撮影
- ② 撮影した医療画像をCD/DVDに保存し、紹介先施設に引継ぎ

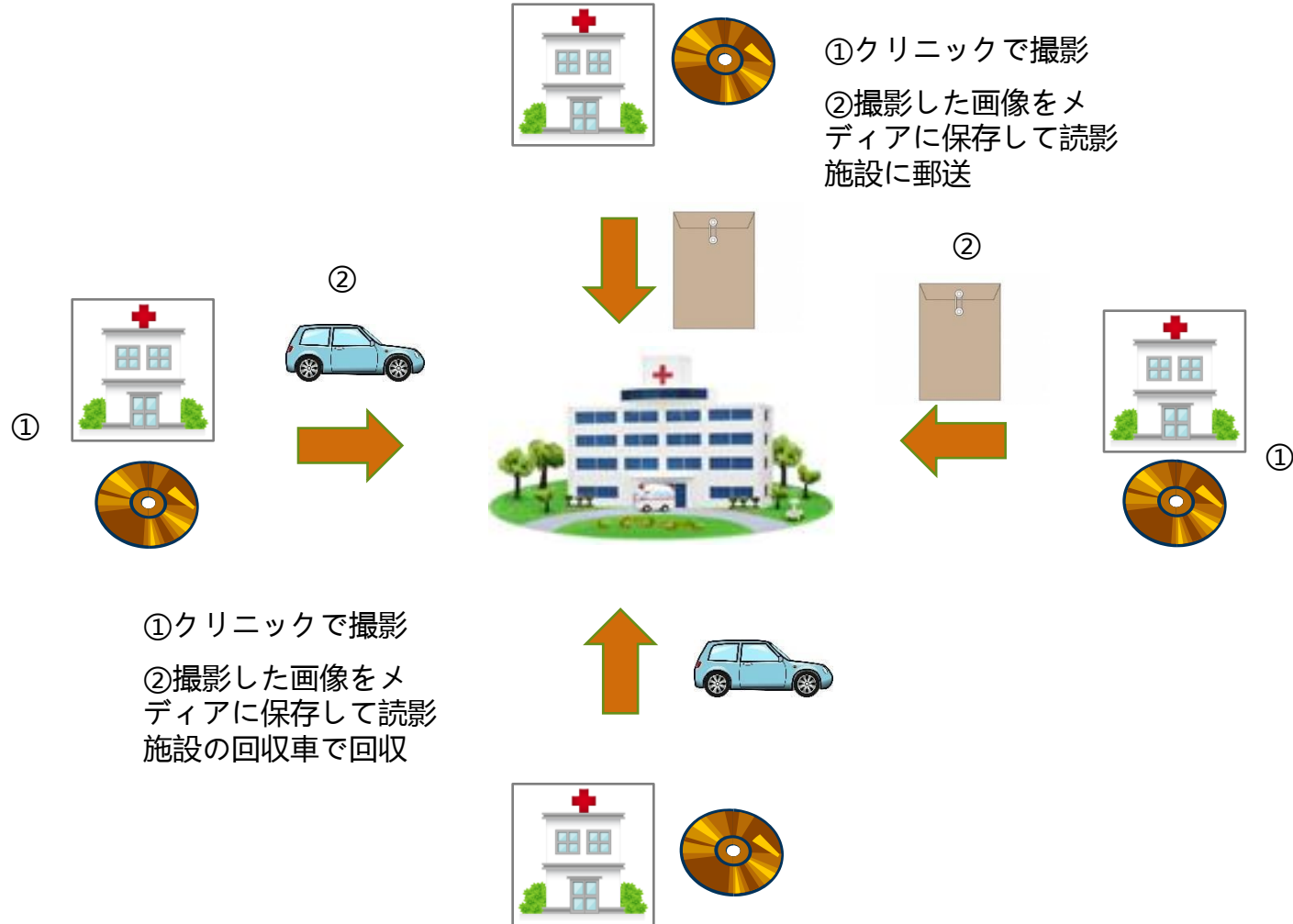


- ③ ImportStationで画像を取込み患者IDを院内で使用しているIDに書き換え、QAStationに転送する
- ④ QA Stationから各端末(View IT)に自動転送
- ⑤ View ITで画像を参照
- ⑥ PDI Stationで医療画像をCD/DVDに保存し、依頼元施設に引継ぐ

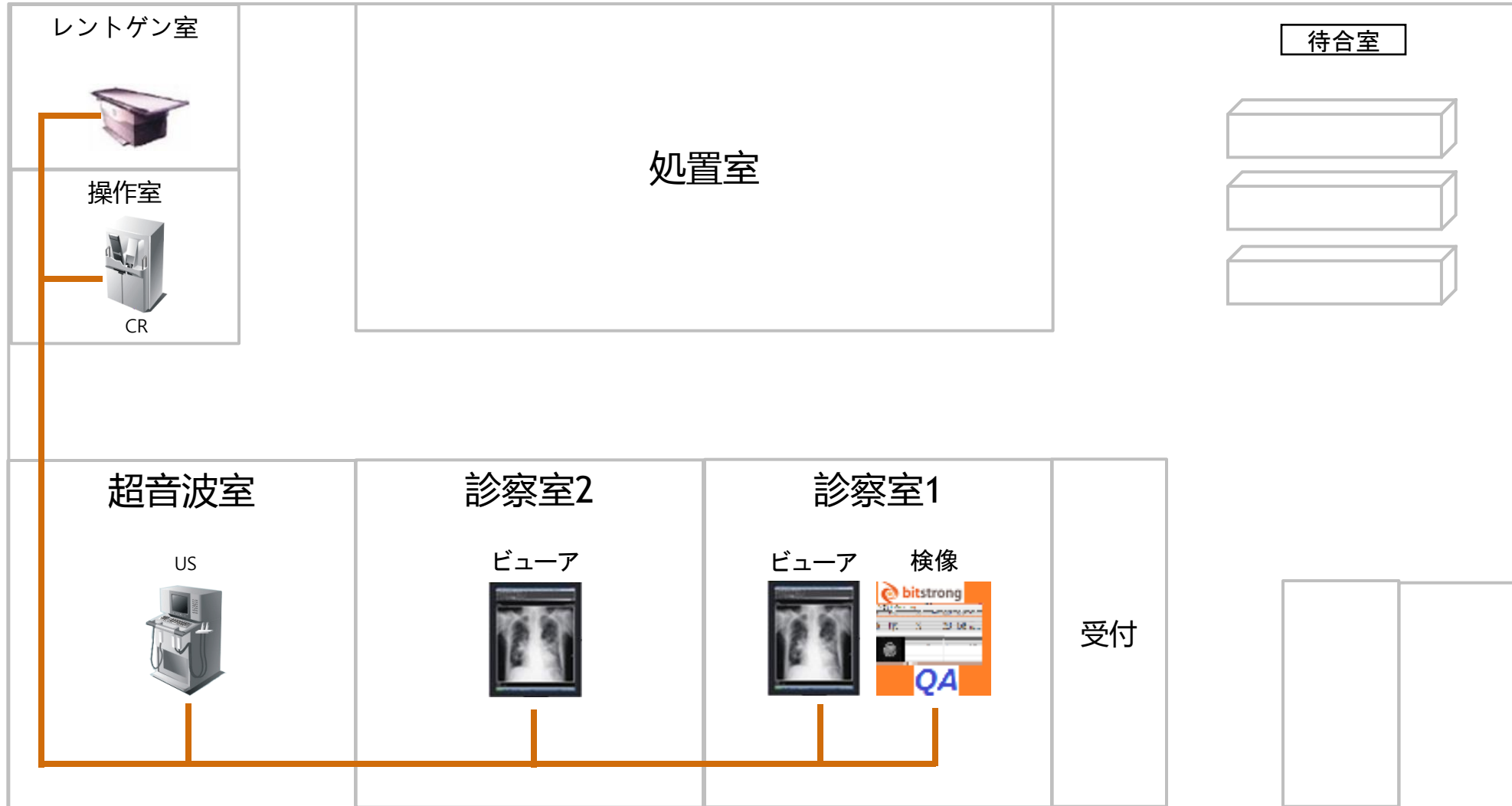
地域連携構成例(クラウドPACSを使用)



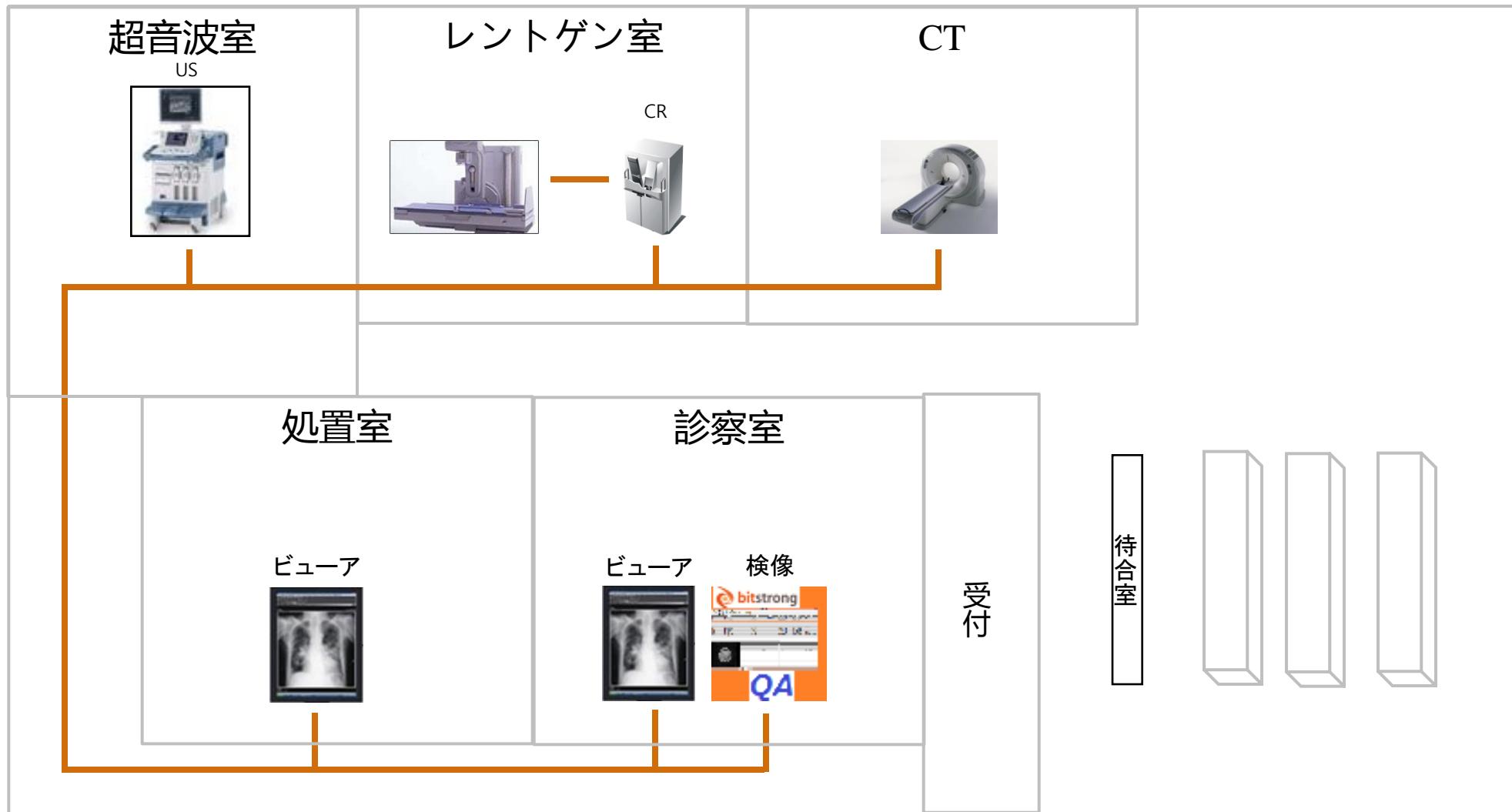
地域連携構成例(メディアを使用)



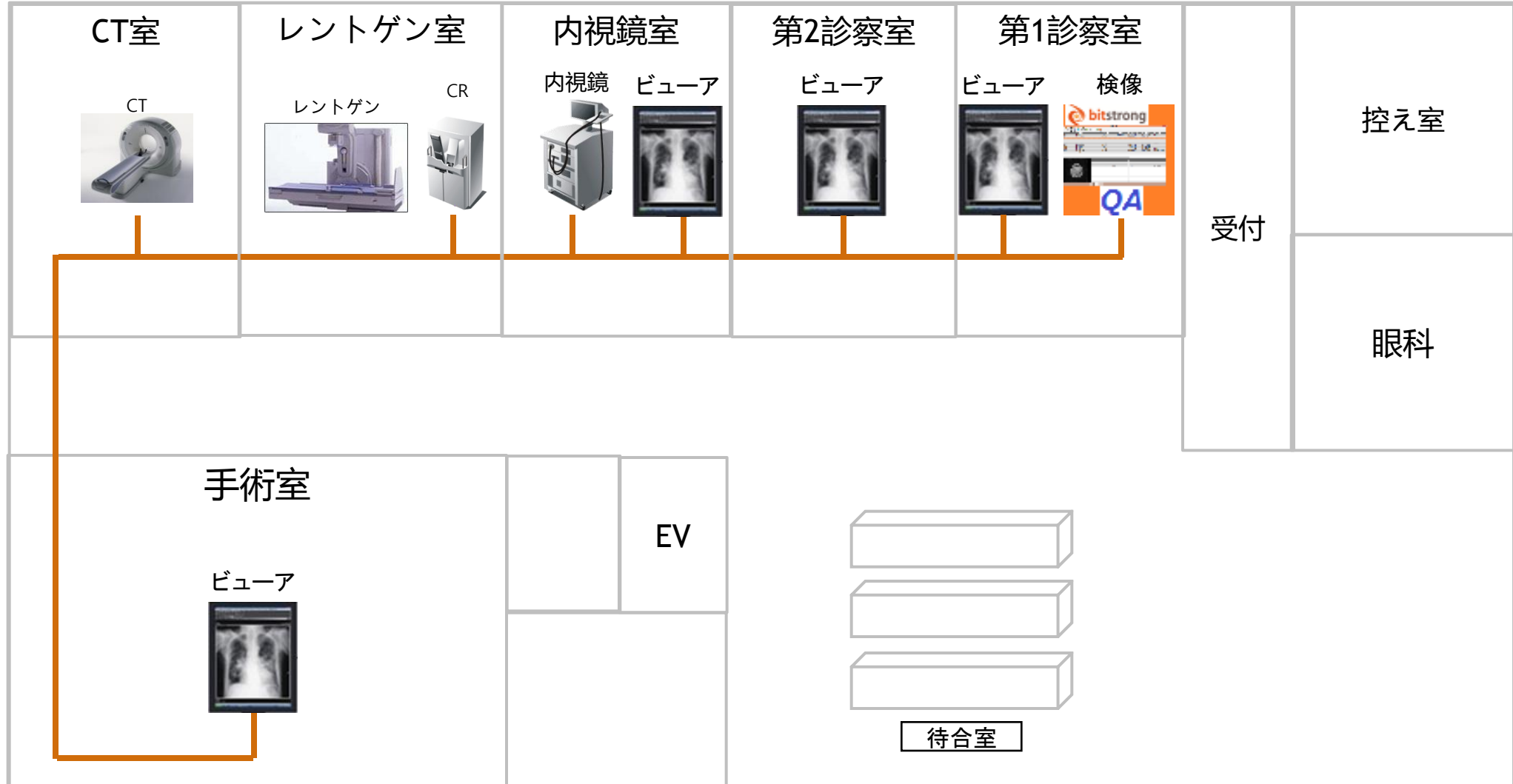
診療所内構成図(内科)



診療所内構成図



診療所内構成図

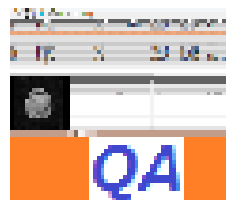


内科 / 整形外科

検査オーダー管理



MWM



QA Station



DS Viewer



PDI Station

医療機器



CR



CT/MR



RF



超音波



DICOM ゲートウェイ
(変換システム)

DICOM非対応の機
器はDICOMゲート
ウェイでDICOM化



内視鏡

歯科

DICOM化する場
合



JPEG化する場
合



DICOM STRONGの特徴

画像参照に特化

【画像表示】

ビューアからサーバーに対してFTP経由でダウンロードし、取込んで表示するため、素早く画像表示することができます。ワークリスト、ビューアが別画面になっており、設定により3面まで対応しております。

【インターフェイス】

フォントサイズ、文字色などをID毎に変更することができるので、複数人が1台を共有して使っても個々の環境を形成することができる

【印刷機能】

外部読影に出す時に必要となる患者情報の一覧表を印刷機能を搭載しています。紙の他、DICOM通信を経由してフィルムにも直接DICOM画像を印刷することができます。

【レポート機能】

レポートレイアウトの変更=レポート.html
クライアントで作成したレポートをサーバーに保存して共有することができます。

【インストール・設定】

設定を保存して複製することができるため、複数台インストールする時やPCの移行作業を効率的に行うことができます。

細部にこだわった多数の機能

【インポート・エクスポート】

- ①エクスポートする際、患者情報を匿名化してDICOMファイルとして保存することができます。
- ②DICOM dirがなくてもインポートすることができます。
- ③指定したフォルダ以降すべての階層にあるDICOMファイルを取り込むことができます。
- ④インポート時、MWMから患者情報を呼び出して、反映させて取込みすることができます。

【システム連携】

◎豊富な外部システム連携

- ①ViewerやレポートからPDI Stationを呼び出しすることができます。
- ②マルチモダリティ対応なので、DICOM規格の医療画像であればすべての医療機器と画像をインポートすることができます。
- ③ビューア上にリンクされているボタンから弊社の3Dオプション、脂肪解析オプションを呼出して起動することができます。
- ④複数のレポートシステムと連携が可能です。
- ⑤該当患者の画像をカルテ上のボタンからビューアを起動して表示できます。

【PDI・バックアップ機能】

- ①CD、USB、ローカル、ネットワーク上にバックアップすることができます。
- ②PDI機能に細部までこだわっていますので、充実したCD焼き込み機能を実現しております。
- ③レポートシステムと連携せず、従来のPDIを自動で連続発行できます。
- ④通常検診、人間ドックなど検診毎に異なるCDラベルの出力書式を定義できます。
- ⑤レポートシステムまたは画像から取得した患者情報をCDラベルに自動印刷できます。
- ⑥書き込むデータ容量に合わせ、CD / DVDを自動的に切替えできます。

DicomStrong ImportStation

(画像導入/一元管理)

他院からのPDI(眼底/口腔/心電図/病理/内視鏡)を読み込み、PACSサーバに送信。



ImportStationの特徴

- 他院のCD (PDI) を取り込み、MWM検索した当院の患者IDに置き換え、正/副サーバに一括送信できる。
- 集団検診用DVDを取り込み、当院の患者IDと受付番号を一括設定できる。
- 眼底カメラやデジカメで撮影した汎用画像を取り込み、ID、患者名等の患者情報を検査画像内に追加できる。

**眼底、心電図、病理、内視鏡、
超音波、紹介状等の一元管理
が可能**

DicomStrong QA Station

各種診断装置の画像を複数画像サーバに自動転送。
 画像の統合、分割、タグ修正し、画像サーバに再送



DS QA Stationの特徴

- 各種診断装置と接続し、複数の画像サーバに自動転送できます。
- 各種診断装置の画像タグ修正が容易にできます。
- 検査画像の統合、分割、削除などが容易にできます。
- 画像ストレージへの転送機能により、画像サーバを使用しない簡易構成を適用できます。
- 受信した画像を画像ビューアに自動転送し、画像を一定期間保存することができます。

DicomStrong Viewer (画像ビューア)

各種診断装置の画像を表示・解析



DS Viewerの特徴

- ユーザ毎の設定により、簡単な操作で業務が遂行可能。
- 画面構成がシンプルなので、システムに慣れていない方でも簡単に操作することができます。
- DS PDIStationと連携し、作成したレポートをCD/DVDに自動でPDI出力できる。
- 電子カルテから呼び出しにより、画像ストレージに格納された当該患者の撮影画像を容易に表示できます。
- 他院のCD画像を取り込み、患者IDを当院IDに変更し、画像ストレージに転送できます。
- 電子カルテで表示した画像を任意の書式で印刷できます。
- ワークリストから画像ストレージに格納した画像をインポートできます。

PDI Station(CD/DVD発行システム)

レポートシステム、画像サーバと接続し、PDI自動作成、CD/DVD発行



DS PDI Stationの特徴

- 複数のレポートシステムと連携が可能。
- レポートシステムと連携せず、従来のPDIを自動で連続発行できる。
- 通常検診、人間ドックなど検診毎に異なるCDラベルの出力書式を定義できる。
- レポートシステムまたは画像から取得した患者情報をCDラベルに自動印刷できる。
- 書き込むデータ容量に合わせ、CD/DVDを自動で切り替え可能。

